

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

「いのち」を尊び、知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましい生徒を育成する。

・明確な目標をもち、協働的な対話を中心として、主体的に学ぶ生徒 めざす生徒像・自他を大切に思いやり、「共に生きること」を大切に作る心豊かな生徒 ・何事にもねばり強く、最後までやりぬき、「生きる喜び」を感得できる生徒

(2) 経営方針

ア 確かな学力の育成をめざして【知】

- (ア) 基礎的・基本的な内容の徹底を図るとともに、学習評価のあり方を研究し、PDCA サイクルに基づいた授業改善により、主体的に探究しようとする資質・能力を身につけさせる。
- (イ) 生徒同士の協働、教職員や地域の人との対話、ICT 端末を活用した個別最適化された学習等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」を実現する。
- (ウ) 現職教育の充実に努め、教職員相互の学びあいの中で、教師力・授業力の向上を図る。
- (エ) 総合的な学習の時間を中心として、国際社会で、日本人としてのアイデンティティを自覚し、国際理解教育、持続可能な開発目標（SDGs）などの現代的な課題に取り組む。
- (オ) 「読み聞かせ」や学校図書館、新聞の活用をはじめとし、各教科の言語活動の強化を図る。
- (カ) キャリア教育を推進し、自らの生き方を考え、進路選択に積極的に取り組む生徒の育成を図る。

イ 豊かな心の育成をめざして【徳】

- (ア) よりよい人間関係づくりを基盤に、道徳科の学習を「要」とした道徳教育の充実に努め、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自他を大切にしようとする心の育成を図る。
- (イ) 生徒一人一人の人格を尊重するとともに、『凡事徹底』を目標とし、社会のルールやマナーを身につけさせ、善悪の判断を主体的にできる道徳性を身につけさせる。
- (ウ) 道徳教育、生徒指導、特別活動の連携を強化することにより、生徒一人一人の「いのち」が輝く教育活動を展開し、生徒も教師も「生きる喜び」を感得できる学校づくりを進める。
- (エ) 「いのち」の授業を通して、自他の生命を大切に作る心を育て、互いに認めあい、共に喜び合える思いやりあふれる学校づくりを推進する。
- (オ) 生徒の心の問題の早期発見・早期対応をめざし、生徒に寄り添った組織的・共感的な相談活動の充実に努める。

ウ 健やかな体の育成をめざして【体】

- (ア) 体育の授業や部活動を通して運動の楽しさを体得させたり、心身を鍛えさせたりする。
- (イ) 様々な疾病の予防と対応、交通安全、けがの予防、大規模災害時の対応など具体的な指導を通して、健康や安全に対する意識を高める。

エ 信頼される学校づくりをめざして

- (ア) 学校運営協議会を中心とし、教育活動の状況を広く公開、発信するとともに、学校内外の評価を常に経営改善に生かし、家庭・地域・専門機関・異校種との連携のもとに教育活動を展開し、信頼される学校づくりを推進する。

(3) 本年度の重点努力目標

『利他共生』（“For You” and “With You”）の教育の推進

- ア 基礎基本の徹底・学習評価について研究を進め、生徒支援につながる授業改善 PDCA サイクルを確立する。
- イ ファシリテーションを中心とした「対話的な学び」や協働的で問題解決的な学習や体験的な学習などの取組により、主体的に学ぶ姿勢と思考力・表現力を育成する。
- ウ 各教科・道徳における、多面的・多角的な話し合いを中心とした質の高い多様な指導方法についての研究を継続して進め、自発的に学ぶ教師集団を形成する。
- エ 「時間」「清掃」「あいさつ」の指導を三本柱とする『凡事徹底』を進めるとともに、生徒指導上の課題を生徒会を中心として、教師と生徒が共に解決していこうとする体制づくりを推進する。
- オ 「いのちの授業」や情報モラル、差別解消促進、福祉などに関わる学習、キャリア教育を通じて、「生き方の学び」に取り組み、生徒が社会や世界に向き合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を育成する。
- カ 学校運営協議会を中心として、家庭や地域との協働に取り組み、自主的な学校ボランティアサークルを組織するとともに、生徒や教師への支援体制を構築する。
- キ 学校ウェブサイトを核として、学校の正確な情報を広く家庭や地域に公開・発信し、家庭・地域と共通理解を図り、学校評価をカリキュラムマネジメントのPDCA サイクルの「要」とする。
- ク 学校や学級に支持的風土を醸成し、魅力ある学校づくりを進め、いじめ・不登校を予防する。
- ケ 教職員がゆとりをもって生徒と向き合い教育実践を進められるように、多忙化解消にかかる業務改善に取り組む。